

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果分析と具体的な対策

【国語】

分 析	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローマ字の読み書きは50%の正答率である。読むことについては8.3%が無回答であった。</li> <li>漢字の読みよりも書く方が十分に身につけていない実態がある。</li> <li>グラフから読み取ったことを言葉（文）として表すことや条件に合わせて自分の考えを書くことができていない。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字・ローマ字の定着が不十分である。</li> <li>グラフや資料をもとにして、わかったことや自分の考えを書く力が不十分である。</li> <li>目的に応じて読み取り、整理する力が不十分である。</li> </ul>
今 後 の 対 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の家庭学習、朝の国語タイムで漢字練習を繰り返し、定着をはかる。</li> <li>ローマ字の読み書きについても、補充学習や国語タイムなどの時間を活用して復習し、週末課題でも取り組んでいく。</li> <li>週末課題に資料やグラフをもとにして考える類似問題を出し、週明けに解説を行う。</li> </ul>

【算数】

分 析	<ul style="list-style-type: none"> <li>除法の計算の確かめなど簡単な計算の正答率は高めである。しかし、除数が1より小さくなる時の商と被除数との関係や、除数と被除数に同じ数をかけるとどうなるのかなど、やや応用する問題になると正答率が下がる。</li> <li>直方体で面と面の位置関係が理解できていない。</li> <li>割合で、どちらが基準量で比較量となるか、それを考える力が十分ではない。</li> <li>式の中の数値が何を表しているのか理解して記述することができておらず、無回答8.3%である。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本の力とともに、それを使ってそれを活用する力が身につけていない。</li> <li>なぜそうなるのか、式を読み取って考えや理由を記述する力が不十分である。</li> <li>例題から類推し考える力がついていない。</li> </ul>
今 後 の 対 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中で、式が何を意味しているのか話させたり、ノートに記述させたりする。また、自分の考えや理由を書く時間を持つようにする。</li> <li>基礎基本の内容を活かした活用問題を、算数タイムや補充学習の時間に扱う。解説も加え、活用する力をつけていく。</li> <li>週末課題で基礎的基本的な内容を確実に定着させるようにし、前学年までの内容もしっかり理解させていくようにする。（正答率の低い【割合】の問題など弱点とする単元を確実におさえながら）</li> </ul>